



窓辺の光や木のぬくもりを生かして、
道具を馴染ませる空間づくりの工夫

休日の朝、窓からたっぷり光が差し込むリビングに、お気に入りのギアとテントを広げるだけで、いつもの空間がまるでアウトドアフィールドに早変わり。
家で過ごす時間を特別にする、家キャングの楽しみ方と、ギアを暮らしに馴染ませる空間のつくり方をご紹介します。

1 テント&窓辺のスペース

室内でも設置しやすい2〜3人用の軽量テントを吹き抜けリビングの窓際に。テントがあるだけで、子どもたちは大喜び、大人も不思議と気分が切り替わります。

家づくりでは、こうした「広がり」を楽しむスペース——大きな窓や、木の梁を見せる高い天井があると、非日常が自然と生まれます。

2 ジェットボイル コンパクトバーナー

素早くお湯を沸かすジェットボイルは、家キャンの強い味方。

コーヒーを淹れたり、ちよつとしたスープを作ったり、シンプルながらも「特別な時間」を演出してくれます。
火を使うシーンが映えるのは、空間に余白があるからこそ。窓際の小さなテーブルや、動線を邪魔しないレイアウトが鍵です。

